

新入部員大募集！！

新年度が始まり、新1年生が入ってきた。旧6年生は卒業したのだが、たまたま、我が柏小男子ソフトボール部に限っては、下の子供がまだ在校中なので、部員に変動が無い。ところが、新入部員もまだ入ってこない。昨年のメンバーが皆一つずつ歳をくったということだ。このままでは、チームの高齢化問題が解決できない。平均年齢がどうも40歳を超えてしまったようだ。40をはるか昔に超えてしまったワシらが平均年齢を上げているわけだが、若返ることができないのだから文句を言わないで欲しい。

現在のところ、新入部員候補すら確保していない状況である。新入部員の供給元である「野里幼稚園ソフト部」に柏小校区の卒業生が居なかった（多分）、小学校内で開拓しないといけないのである。

ただし、なかなか難しい問題があるので検討してみたい。

部員増を阻害する要因(その1)

新1年生の総数が、50人ぐらいであるらしい。これで2クラスだ。わしの時代は1クラスで50人ぐらいであった。40人学級問題が叫ばれていたような気がする。「わしの時代」といっても、何もわしが幕府を開いて、後世から「川久保時代」とか言われるということやなくて、「ワシの小学生当時」という意味である。

要は、早い話、親の数が少ない分、新入部員の確保が難しいということである。2～3行で済む話を10数行かけてするところが「柏スポ」である。単なる行数確保である。しかし2行余った。この場合、無駄なこと書いて、丁度にしよとしたら、ほれ、このとおり最終行である。

部員増を阻害する要因(その2)

うまいこと段を変えたところで、見出しを入れる。考えたレイアウトの様に見えるが、実は何も考えていない。適当である。このニュースそのものが適当というのがキーワードなので、ガマンしてもらうほかには無いのである。と、ここでも5行稼いでいる。

さて、ここで本題に入ると後が続かないような気がするが、書くこと早く書いてしまわないと書き忘れてしまうことが心配になってくる。だから書く。要するに、阻害要因その2は、我が柏里小学校男子ソフトボール部は、柏里小学校PTA役員養成所ではないのかというウワサが存在する。振り返って見ると、部員だけでなく、その奥さんが役をしていることも含めると相当な数ではないのでしょうか？ワシが企画…

(以下、愚痴が延々と書かれていましたが、公序良俗に反する箇所が多数有ったため割愛させていただきます。：編集部注)

部員増を阻害する要因(その3)

練習後の飲み会が、練習時間より長い時がある。まあ、仕方が無いことではあるが。楽しいのだからお許し願いたい。日々の仕事などの生活からくるストレスを発散するところも必要なのである。強制参加はしていないよ。

新入部員募集強化月間：4・5・6月
参加者募集強化月間：7・8・9・10月
体験入部募集強化月間：11・12・1・2・3月

柏小2連勝!!

西尾新体制最高のスタート
↑
次につながるか?

2005年度西尾新監督の下、練習試合が実施された。第1試合：歌中 OB チーム、第2試合：歌島中学校との2連戦での開催となった。

第1試合：歌中OB戦

全国でもトップクラスの実力を有する歌中OBとの対戦だ。ソフトボールマガジンにも掲載されていた。ただし、今回対戦したメンバーがその時のメンバーであったのかというのはここでは問題にしない。事実を書いているのみだ。

歌中OB	0	0	1	2	3
柏里小	3	0	3	×	6

(バッテリー) 前川ー藤本

二塁打：川久保 三塁打：藤本

安打数：5 勝投手：前川 (4回3失点)

順	守	名前	1	2	3	成績
1	捕	藤本	O	3H	E	2-1
2	三	橋本	H	O	B	2-1
3	中	稲瀧	H	B		1-1
4	遊	山下	B	O		1-0
5	左	川久保	B/1		2H	1-1
6	一	植村	犠/1		O	1-0
7	二	下地頭所	B		犠・E	0-0
8	右	八木	O		O	2-0
9	投	前川		O	H	2-1

H：安打 2H：二塁打 3H：三塁打

B：四死球 犠：犠打 O：アウト

上のスコアは少しややこしいので説明が要る。特に3回の攻撃で、先頭のワシが二塁打で出て、下地さんが送りバント成功させたところ、相手の暴投でワシが生還、下地さんがランナーとして残ったので、「犠打」だがアウトカウントが増えてない。また、マロの四球で終わっているが、せっかくランナーに出たのに、無謀に盗塁失敗

してチェンジということだ。打点が付いていないのはエラーによる得点だから。

西尾新監督の初采配にして初勝利だ。初回、相手投手の立ち上がりを攻めて先制したのが良い。難を言えば、もう少し点が取れるはずであったということだが、最初から高望みしても仕方が無い。フジモトが1番バッターだ。相手も驚いたが、本人が一番驚いたことだろう。柏小で一番手堅さのあるところが抜擢の理由か？それは、ニシオしか知らない。

第2試合：歌島中学戦

ライバル歌中との試合だ。今シーズンの柏小を占う試合である。

歌島中	0	0	0	0	1	1
柏里小	5	0	0	0	×	5

(バッテリー) 花本ー橋本

二塁打：川久保、植村

安打数：10 勝投手：花本 (5回1失点)

順	守	名前	1	2	3	4	成績
1	左	藤本	H	O	-		2-1
	左	西尾	-			H	1-1
2	捕	橋本	O	H		O	3-1
3	中	稲瀧	H	H		O	3-2
4	遊	山下	H/1	併			2-1
5	三	川久保	2H/1	O			2-1
6	一	植村	2H/2		O		2-1
7	二	下地頭所	H		O		2-1
8	右	八木	H/1		O		2-1
9	投	花本	O			O	2-0

交代：(2回) 藤本→西尾

カルロスが3番だ。3冠王だからか？

2連勝だ。幸先良いスタートをきった。今回も先制した。それも初回に打者一巡の先制攻撃だ。ただし、後半息切れが課題として残る。以上